



築地市場の豊洲移転

「無害化」約束破るのか

**共産党都議団が
厳しく追及**
臨時
都議会

小池知事答えられず

築地市場の豊洲新市場（東京ガス豊洲工場跡地）への移転問題で、日本共産党曾根都議団長は8月30日、都議会本会議で小池百合子知事に対し、都が移転の前提としていた豊洲新市場の汚染土壌と地下水を「無害化」するという都議会と市場業者、都民との約束をほごにするのかとただしました。小池知事は質問に正面から答えられませんでした。

知事の姿勢は、業者や都民との約束の一方的破棄。これが許されるか!!

曾根都議団長は、小池知事が7月の都の関係局長会議で、土壌も地下水も環境基準以下とする「無害化」方針を撤回したことは食の「安全・安心」を確保するための「約束を一方的にほごにするものだ」と批判。これに対し小池知事は「現実的な取り組みを進める必要がある」と判断し、無害化に代わる新たな方針を定めた」と答え約束違反を合理化しました。曾根都議団長は再質問で、知事の答弁は「土壌も地下水も環境基準以下にするという『ハードル』は現実的ではなかった、だから一方的に破棄するというもの」だと批判。業者や都民との双方の合意にもとづく約束を一方的に破棄してよいのかとただしましたが、小池知事は「都議会や都民との約束は極めて重いものと考えている」としたものの、双方の合意については答えませんでした。

「無害化約束変更の申し出なく、合意もない」——築地女将さん会が主張

「築地女将（おかみ）さん会」も「（無害化の）『約束』の内容について変更の申し出はなく、また合意の手順も踏まれておりません」（小池知事への「要請・質問状」）と述べ、無害化の約束は生きている、と主張しています。この約束を一方的に破棄するのは許されません。

食の安全・安心こわす移転は中止し 築地の再整備を

豊洲新市場は深刻な汚染が残ったままであり、生鮮市場にまったく適していません。築地市場の現在地再整備こそ「最も現実的」な道。実現に全力をあげます。

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2017年9月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可